

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次・通年・A 群		
	対象学科・専攻	留学生		
日本語 (Japanese language)	担当教員	古川 理沙 (Furukawa, Risa)		
	教員室	学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL : 42-2167)		
	E-Mail			
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 1 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (45 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標]	日本語能力試験 N 相当レベルの文法を復習しながら、日常生活で使えるようになることを目指す			
[本科目の位置付け]	高専での学習のみならず、論文の読み込み、レポート作成などの基礎となる			
[学習上の留意点]	講義内容をよく理解するために、毎回復習をすること。			
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
Unit 1	10	<input type="checkbox"/> 日本語能力試験 N1 の文法 13 項目を正しく使えるようになる	<input type="checkbox"/>	各授業内容について、教科書や文献・インターネットを使って、概略を勉強しておく。
Unit 2	8	<input type="checkbox"/> 日本語能力試験 N1 の文法 13 項目を正しく使えるようになる	<input type="checkbox"/>	
Unit 3	8	<input type="checkbox"/> 日本語能力試験 N1 の文法 13 項目を正しく使えるようになる	<input type="checkbox"/>	
-前期末試験-	2	授業の内容について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を理解する		
Unit 4	8	<input type="checkbox"/> 日本語能力試験 N1 の文法 13 項目を正しく使えるようになる	<input type="checkbox"/>	
Unit 5	6	<input type="checkbox"/> 日本語能力試験 N1 の文法 13 項目を正しく使えるようになる	<input type="checkbox"/>	
Unit 6	6	<input type="checkbox"/> 日本語能力試験 N1 の文法 13 項目を正しく使えるようになる	<input type="checkbox"/>	
Unit 7	6	<input type="checkbox"/> 日本語能力試験 N1 の文法 13 項目を正しく使えるようになる	<input type="checkbox"/>	
-後期末試験-	2	授業の内容について達成度を確認する		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を理解する		
[教科書] 『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニング N1』 アルク				
[成績評価の基準] 期末試験成績 (60%) + 発表 (40%) - 授業態度 (最大 10%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連] 1-a, 2-a, [教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] [JABEE との関連] [教育プログラムの科目分類]				

Memo

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	3・4 年次・通年・A 群		
	対象学科・専攻	留学生		
日本語 (Selective Japanese language)	担当教員	古川 理沙 (Furukawa, Risa)		
	教員室	学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL : 42-2167)		
	E-Mail			
教育形態／単位の種別／単位数	講義／履修単位／1 単位			
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (45 分)〕×30 回 ※適宜, 補講を実施する			
〔本科目の目標〕 日本語能力試験 1 級 (N1) の試験範囲である漢字・語彙を中心に、本学で課されるレポート課題や論文、研究発表等を行う際の基礎となる。主に書き言葉に重点を置いた日本語力・表現能力を身につける				
〔本科目の位置付け〕 高専でのレポート課題等に取り組む上での基礎。				
〔学習上の留意点〕 講義の理解状況を把握するために、単元ごとの小テストを行うので、毎回、復習すること。また、漢字宅習を義務づけ、毎週そのチェックテストを行う。				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
一通目の手紙	3	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		各授業内容について、教科書や辞書を使って、概略を勉強しておく。
二通目の手紙	2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
三通目の手紙	2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
四通目の手紙	2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
五通目の手紙	2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
—前期末試験— 試験答案の返却・解説	2 2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
六通目の手紙	3	授業の内容について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解する □ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
七通目の手紙	2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
八通目の手紙	2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
九通目の手紙	2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
十通目の手紙	2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる		
—後期末試験— 試験答案の返却・解説	2 2	□ 本文に出てきた N1 レベルの漢字の読み書きが正しく出来るようになる 授業の内容について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解する。		
〔教科書〕 『手紙屋 (蛭雪編)』 喜多川泰 デイスクヴァー・トゥエンティワン				
〔成績評価の基準〕 平常テスト (50%) 期末復習テスト (50%) —授業態度 (最大 10%)				

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	3・4 年次・通年・A 群		
	対象学科・専攻	留学生		
日本語・日本事情 (Japanese and Japanese Culture)	担当教員	古川 理沙 (Furukawa, Risa)		
	教員室	学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail			
教育形態／単位の種別／単位数	講義／履修単位／2 単位			
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (90 分)〕×30 回 ※適宜, 補講を実施する			
〔本科目の目標〕 日本語力を向上させ、日本社会で必要とされるコミュニケーション能力を鍛える、縦書きに慣れる				
〔本科目の位置付け〕 高専での学習のみならず、日本での社会生活全般の基礎となる。				
〔学習上の留意点〕 講義内容をよく理解するために、毎回復習をすること。				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
一通目の手紙	6	□ 縦書きの文章に慣れ、本文の内容を理解するのに必要な文法、語彙を身につける		各授業内容について、教科書や文献・インターネットを使って、概略を勉強しておく。
二通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
三通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
四通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
五通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
六通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
七通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
八通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
九通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
十通目の手紙	6	□ 内容を理解し、必要な文法、語彙を身につける		
〔教科書〕 『手紙屋 (蛍雪編)』 喜多川泰 ディスカヴァー・トゥエンティワン				
〔成績評価の基準〕 本文要約レポート 4 回 (2.5 点×4) -授業態度 (最大 10 %)				
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 1-a, 2-a, 4-b 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 〔JABEE との関連〕 〔教育プログラムの科目分類〕				

Memo

.....

.....